

記入例

※整理番号
※受付年月日 . .

児童手当・特例給付 別居監護申立書

18歳に達する日以後の最初の3月31日に達するまでの間にある児童について記入してください。
18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子については、「監護相当・生計費の負担についての確認書」を提出してください。

私は、別居している児童を養育している又は生計を維持していることについて、下記のとおり記入します。

申立人（亀岡太郎）と別居（住民票が申立人と別住所）であるが、申立人が養育している児童の氏名を記入（18歳到達後最初の3月31日に達するまでの間にある子）

当該児童の個人番号を記載した別居監護申立書を既に提出しておりその状態が継続している者の場合には、個人番号欄の記載は不要。

1. 別居している児童について

ふりがな 児童の氏名	個人番号	性別	生年月日
かめおか はるこ 亀岡 春子	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1	子	平成 25 年 1 月 1 日
			年 月 日
			年 月 日

※申立人が公務員の場合又は当該児童の個人番号を記載した別居監護申立書を既に提出しておりその状態が継続している者の場合には、個人番号欄の記載は不要。

住所 京都府京都市〇〇区〇〇町〇〇（例） 上記児童の住民票上の住所

2. 別居している児童の属する世帯について

ふりがな 世帯主の氏名	児童からみた世帯主の続柄
かめおか はなこ 亀岡 花子	母

別居している児童と同一住所の世帯主

3. 別居の理由について

- ① 仕事の都合上、単身赴任をしているため
- (2) 児童の進学、通学のため
- (3) その他 (_____)

4. 別居期間

令和 元年 1月 1日 から 令和 7年 3月 31日まで 現時点でわかる範囲を記入（至期間は空欄でも可）

5. 監護、生計同一又は生計維持の状況（面会、仕送り等について）

生計費の負担割合100%、毎週末面会している（例）

年 月 日

【申立人】（児童手当・特例給付の請求者・受給者）

住所 亀岡市〇〇町〇〇一〇〇

氏名 亀岡 太郎